

令和4年度



YURIKAGO 通信 《2月号》

R5.1.25 東京ゆりかご幼稚園



始業式

< 保育や活動の様子はブログでも紹介しておりますのでご覧ください！ >

3学期スタート

3学期がスタートしました。始業式は青空の下、芝生の園庭で行い、素敵な笑顔と元気な歌声が帰ってきました。始業式、終業式などを園庭で行うようになったのは、3年前の新型コロナウイルスが流行し始めてからで、それまではホールに全園児が集まり行っていました。当時、2月の生活発表会直前に流行し始めたため、発表会は急遽クラスごとに開催し、3月の終業式・卒園式は初めて園庭で行いました。豊かな自然に囲まれ、晴天と相まって思い出深い式となりました。

当時は「得体の知れない」コロナへの対応として苦肉の策で行った策でしたが、元々、Yurikagoのコンセプトは「外へ外へ、外でできることは外で」。もっと早くに実行しても良かったかもしれません。このようにコロナによって行事の開催方法などは大きく見直されましたが、決して「縮小」だけでなく、原点に帰り新たな発想を得たり、工夫をしてより良くしていくことができたことにも着目したいと思います。今後、新型コロナウイルスの5類移行や緩和策も検討されておりますが、引き続き感染対策に注意しながら、かけがえのない幼稚園生活を充実して過ごすことができるよう見守って参ります。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

もちつき会

日本の伝統行事でもある「もちつき」。幼稚園では昔から伝わる方法で、もちつきを行いました。お正月にお餅を食べることは普段食べないものを食べることで、気持ちを切り替えるという意味があるそうです。また神様にお供えた野菜や餅をお雑煮にしたたべることで、「神様からパワーをいただく」という意味もあるそうです。幼稚園では無事に年を越せたことに感謝し、また素敵な1年になることを祈念してお餅つきを行いました。



釜戸にのせた蒸籠からでる湯気に興味津々。蒸し上がった餅米に早速「おいしそう！」の声。臼に餅が入り、まずは職員が杵でつき始めると「よいしょ！よいしょ！」の元気なかけ声が。餅が少し柔らかくなってきたところで、今度は子ども達の番！ みんな力一杯餅をつきました！

※衛生管理上、餅は「体験用（つく用）」と「食用」に分けています。

正月遊び

1月から園庭に「正月遊びコーナー」を設け、周辺では子ども達が様々な遊びを楽しん

でいます。こままわし、羽根つき、けん玉、竹とんぼ、だるま落とし、、、一通り遊んでみて、その中から気に入った遊びに夢中になっているようです。こま等は、初めうまくできなくても、お兄さんお姉さんを真似したり職員に教えてもらったり、失敗を繰り返しながらも根気強く挑戦し、日々上達しています。「僕、家でも練習してるんだ!」という声も聞かれますが、是非ご家庭でもお父様やお母様と継続して楽しんでいただくと、より上手に遊べるようになるでしょう。



生活発表会への取り組み

普段から絵本に親しんだり、劇遊びを楽しんだりしてきましたが、生

活発表会に向け、必要な背景画や装飾を作っています。物語の世界に入り想像を膨らませながら、お友達や先生と意見を出し合い、発表会に向けて期待を持って過ごしています。ホールでも徐々に発表を意識しながら劇に取り組んでいます。



年長 どんと焼き

年長さんの書き初めを幼稚園のお正月飾りや門松などと一緒にどんと焼きで燃

やしました。森の広場のファイヤースペースにお炊き上げ用に組み、書き初めを入れマッチで点火! あっという間に天高く燃え上がりました。書き初めが燃える様子、煙が天に昇る様子を全員で見守り、穏やかに1年を送ることができるようみんなで祈りました。コロナでお休みしていた餅焼きも、篠竹に刺して火に炙って頂くことができました。どんと焼きには様々な意味があると言われています。歳神様が煙に乗って天に帰れますよう、字をうまく書けますよう、そして何より健康に暮らせますように。

